

第 1 回「弥富市地域公共交通活性化協議会」 議事録

日時：平成 30 年 6 月 26 日（火）

午後 1 時 30 分から

場所：弥富市 十四山支所 第 4 会議室
（十四山支所 3 階）

○議 事

1.開会

事務局 (伊藤課長)	<ul style="list-style-type: none"> ・ただ今から、平成30年度 第1回弥富市地域公共交通活性化協議会を開催する。 ・私は危機管理課・課長の伊藤である。よろしくお願い申し上げます。
---------------	--

2. 弥富市長挨拶

事務局 (伊藤課長)	<ul style="list-style-type: none"> ・はじめに、服部弥富市長よりご挨拶をいただく。
服部市長	<ul style="list-style-type: none"> ・大変お忙しい中、平成30年度第1回弥富市地域公共交通活性化協議会に各委員ご出席をいただき感謝する。 ・6月末とはいえ、非常に暑い日が続いている。この夏の長期予報を見ると、例年になく7月は暑いと既に予測されている。どうか、十分ご自愛をいただきたい。 ・きんちゃんバスは平成24年4月から運行を開始させていただき、当協議会において協議を重ね、ダイヤの改正等も含めて、より良い運行を目指し進めさせていただいている。 ・利用状況については、後ほどご説明させていただくが、徐々に増加している状況である。今後とも改善を加え、地域公共交通の確保のためにしっかりとご協議いただきたい。 ・本日の議題については、お手元にもあるように平成29年度決算報告をはじめ、8議題となっている。その内、平成30年度末の弥富市地域公共交通網形成計画の見直しに向け、全体の再編の検討を進めていかなければならないので、よろしくお願いする。 ・平成30年度の最初の協議会である。新たに委員になられた方もおみえになるが、よろしくお願いする。 ・簡単ではあるが、開会にあたってのあいさつとさせていただく。よろしくお願いする。
事務局 (伊藤課長)	<ul style="list-style-type: none"> ・本日の会議資料の確認を事務局よりお願いする。
事務局 (岡田)	<p>会議資料の確認をする。</p> <p>事前にお送りした資料として、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 30 年度 第 1 回弥富市地域公共交通活性化協議会 次第 ・資料 1：弥富市地域公共交通活性化協議会委員名簿

	<ul style="list-style-type: none"> ・資料 2：平成 29 年度弥富市地域公共交通活性化協議会決算書 ・資料 3：今後の運行改善等の検討の進め方について ・資料 4：平成 31 年度地域公共交通確保維持改善計画（案） ・資料 5：利用者実態調査について ・資料 6：モニタリング調査について ・資料 7：無料お試し乗車券について ・資料 8：バス停の新設・ダイヤ改正について <p>がある。また、本日机の上に、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配席表 ・きんちゃん時刻表 ・委嘱状（新委員の方のみ） ・フラットファイル <p>をお配りしている。ご確認願います。</p>
事務局 (伊藤課長)	<ul style="list-style-type: none"> ・不足はないか。 ・今年度より委員となられた方のご紹介をさせていただく。 ・それでは、以降の議事を山崎先生にお願いしたいと思う。

3.議題

(1) 平成29年度決算報告について

山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ご紹介いただいた公益財団法人 豊田都市交通研究所の山崎である。本年度もよろしくお願ひ申し上げる。 ・先日、テレビを見ていたら、ローカル路線バスの旅というマニアックな番組がある。コミュニティバスとかローカルの路線バスを乗り継いで、どこからどこまで行くという番組で、その中で三重県から弥富に入られて、ようやく見つけたバス停が三重交通さんの廃止になったバス停でがっかりしていたところに、少し歩いたらきんちゃんバスがあった。東部ルートに乗って、善太橋西バス停で飛島バスに乗り継いで近鉄蟹江駅まで出演者の方々が行かれた。このシーンはすごく、私自身うれしかった。東部ルートはフィーダー路線として位置づけられていて、飛島バスが幹線バスで、そこにつながる枝線として国から補助金をもらっている。補助金をもらっているからには乗り継ぎができるというのはすごくいい実例である。胸を張って補助金をいただけるという例だと感じ、非常にうれしかった。 ・市民の方々もそういった使い方をしてっているとよい。今年度もより良いバスをつくっていくということで、皆さん、よろしくお願ひする。 ・お手元の次第をご覧いただきたい。今日は議題がたくさんある。すべて審議事項になっているので、よろしくお願ひする。 ・議題（1）平成29年度決算報告について、事務局より説明をお願ひする。
事務局 (岡田)	<p>○資料2説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度弥富市地域公共交通活性化協議会決算について資料2を基にご報告する。 ・まず決算書について、

	<p>(歳入について説明)</p> <p>(歳出について説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次に、裏面のバス運行事業費について、委託契約額86,232,960円、運賃収入等が5,050,024円、契約額から運賃収入等を差引いた81,182,936円となっている。 ・また、次ページには、これまでの各年度のバス運行経費について整理している。 ・運行経費は、平成28年12月の蟹江警察署バス停の新設等により増加しているが、収支率は5.9%と前年度と同等を維持している。 ・また、年間利用者数は増加傾向を維持しており、運賃収入も増加している。 ・以上で、説明を終わる。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・監査結果について、監事の伊藤区長会長さんよりご報告いただく。
監事 (伊藤区長会長)	<p>◆監査報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・監事より、監査結果についてご報告する。 ・弥富市地域公共交通活性化協議会事務局より提出された平成29年度弥富市地域公共交通活性化協議会収支決算について、諸帳簿及びその証拠書類を監査した結果、いずれも適正に執行され、決算額に誤りはないものと認められることをご報告する。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度事業・決算報告、監事からの監査報告について、ご質問等あればお願いします。 ・よろしいか。 ・それでは、決算報告に関してご審議いただきたい。承認いただける方は挙手をお願いします。
委員一同	(異議なし)《承認》
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・全会一致で承認された。

3.議題

(2) 今後の運行改善等の検討の進め方について

山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・議題(2)今後の運行改善等の検討の進め方について、事務局より資料の説明をお願いします。
事務局 (岡田)	<p>○資料3説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後の運行改善等の検討の進め方について、資料3を基にご説明する。 ・昨年度の3月の協議会において、東部ルートの運行見直しを継続検討していくということで、ご議論、ご承認いただいた。 ・その後、事務局において検討を進めたが、客観的に運行を評価していただく第三者評価委員会において、東部ルートについては、路線型運行が合わないのではないかという意見を頂いていること。 ・弥富市の網形成計画の目標年も平成32年度と近くなっていること。 ・総合計画や都市マスといった上位関連計画も現在見直し中となっていることを踏まえ、平成32年度末に向け、「弥富市地域公共交通網形成計画」の見直しにあわせ、公共交通網全体の再編を検討したいと考えている。

	<ul style="list-style-type: none"> ・検討の進め方について、資料3の下段に簡単な流れを整理しているので、ご覧いただきたい。 ・平成30年度、今年度においては「網形成計画等の見直しに向けた検討」平成31年度に「基礎調査」、平成32年度に「網形成計画の見直し」を進め、平成33年度以降に再編を実施したいと考えている。 ・具体的には、今年度は、平成31年度の基礎調査等に向け、どのように利用特性を把握するのか、また、利用者や住民の意向をどのように把握するのか、見直しに向けたスケジュールを検討したいと考えている。 ・平成31年度は、基礎調査として、今年度検討した内容に基づき、利用特性や意向を把握し、現在の地域公共交通の問題点、課題、見直しの方向性を検討したいと考えている。 ・その結果を踏まえ、平成32年度に網形成計画の見直しを進め、その中で、運行方法も含めた再編の内容、再編実施の時期等も検討したいと考えている。 ・以上で、説明を終わる。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の運行改善等の検討の進め方について、ご意見、ご質問等あればお願いします。
杉本委員 (愛知運輸支局)	<ul style="list-style-type: none"> ・全般的な進め方の方向性については、こういう形で進めていただく。具体的なスケジュールについても次回以降に出てくるかと思うので、よろしくお願いします。 ・網計画そのものがしっかり評価をして作成されている。網計画全般の評価・検証をしっかりしていただく。その中で利用促進策等もあるので、網形成計画全体の評価・検証を図って次期網計画策定、そして、それに合わせた路線再編といったスケジュールでやっていただければよい。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・コメントということよろしいか。 ・事務局から何かよろしいか。 ・他にいかがか。
竹川委員 (公募委員)	<ul style="list-style-type: none"> ・3年間こういう形で進めていくということだが、きんちゃんバスの今の大きいバスをいつまで利用されるのか。結構、大きい割には1~3人程しか乗られていないのが南の方で見受けられるので、かなりもったいない感じがする。車検年度というか、利用年度(10年とか15年とか)というのは、市は計画されているのか。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局、いかがか。 ・大きい車両が走っているのは南部ルートである。きんちゃんバスが走り始めた時に導入したものである。
事務局 (伊藤課長)	<ul style="list-style-type: none"> ・車検については、毎年車検をさせていただいている。それについては問題ないと思う。 ・耐用年数も含めて、網形成計画の見直しに向けて、どのような運行形態だとかについて提案をさせていただきながら、皆様のご意見を頂戴したいと考えている。今現在のところはこのままの形態でと考えている。

竹川委員 (公募委員)	・車検が通るうちは使い続けるということか。
事務局 (伊藤課長)	・そうである。
服部市長	・この網計画は平成24年4月からやってきているが、さらに効率を求め、あるいは費用対効果ということも含め、大きく見直しをさせていただくひとつの起点であるということをご理解いただき、「南部ルートはどうする」あるいは「東部ルートについてはどうする」といった抜本的な改正も踏まえて、これから時間をかけて委員の皆さま方とご協議させていただきたい。ご理解をいただきながら、今後の協議の中でご意見をいただきたいと思いますのでよろしくお願いする。
山崎議長	・車両の計画を見据えて、ネットワークの計画とあわせて考えていく。 ・他によろしいか。 ・それでは、今後の運行改善等の検討の進め方について、今年度含めて3～4年間で取り組んでいく。具体的なことは今後検討していくことになるが、これに関して、このような形でよろしいかどうかご審議いただきたい。賛成いただける方は挙手をお願いする。
委員一同	(異議なし)《承認》
山崎議長	・全会一致で承認された。事務局でこの流れに沿って進めていただきたい。よろしくお願いする。

3.議題

(3) 平成 31 年度地域公共交通確保維持改善計画 (案) について

山崎議長	・議題 (3) 平成 31 年度地域公共交通確保維持改善計画 (案) について、事務局より説明をお願いする。
事務局 (岡田)	○資料4説明 ・平成31年度地域公共交通確保維持改善計画案について、資料4を基にご説明する。 ・一定の要件を満たし、この「地域公共交通確保維持改善計画」に位置づけられた路線については、「地域公共交通確保維持改善事業」の運行補助を受けることが可能となる。 ・地域公共交通確保維持改善計画には、様々な添付様式・資料があるが、ここでは、計画部分として平成31年度から33年度までの3ヵ年計画を提示させて頂いている。 ・なお、確保維持改善計画の計画年度は10月から翌年9月までを1ヵ年としている。 ・まず、「0. 地域公共交通確保維持改善計画の名称」は「弥富市地域公共交通確保維持改善計画」とする。 ・次に「1. 地域公共交通確保維持事業に係る目的・必要性」は「弥富市地域公共交通網形成計画」に基づき、今後も市内バス運行の改善・充実のため、利用者実態調査やモニタリング調査、ニーズに即したダイヤの見直し等を実施し、高齢者等の移動制約者の交通手段を確保していくため、

	<p>地域公共交通確保維持事業により地域内フィーダー系統のコミュニティバスを運行し、市民生活と地域を支える持続可能な地域内フィーダー系統としてのコミュニティバスを確保・維持していくことが必要としている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次に2ページ目をご覧ください。 ・「2. 地域公共交通確保維持事業に係る定量的な目標・効果」として、事業の目標では、網形成計画に基づき、2つの目標を掲げている。 ・また、網形成計画における目標値と本計画における目標値を対比できるように、表で整理している。 ・1つ目は「総合的満足度の向上」として、利用者アンケートにおける満足度のうち「非常に満足」「やや満足」の割合となる。 ・表左側の網形成計画では、平成32年度に50.0%以上を確保することを目標としているが、昨年度の29年度の実績では60%が満足している状況である。 ・表右側の本計画においては、平成33年において50.0%以上を維持することを目標としている。 ・2つ目は「1便当たり乗車人員の向上」となる。 ・表左側の網形成計画では、平成32年度に北部ルートで11.8人/便、南部ルートで8.7人/便、東部ルートで9.5人/便を目標としている。 ・この目標値は4月から翌年の3月までを1年度とした場合の値となる。 ・一方、昨年度の29年度の実績では、北部ルートで9.0人/便、南部ルートで8.8人/便、東部ルートで9.4人/便ということで、特に北部ルートにおいて一層の利用促進が必要な状況となっている。 ・表右側の本計画では、平成33年において、北部ルートで12.8人/便、南部ルートで9.0人/便、東部ルートで9.6人/便を目標としている。 ・この目標値は10月から翌年の9月を1年度とした場合の値となる。 ・一方、昨年度の29年度の実績では、北部ルートで8.8人/便、南部ルートで9.0人/便、東部ルートで9.1人/便となっている。 ・また、「事業の効果」としては、満足度及び1便当たり乗車人員数の向上により、コミュニティバスの運行を維持することが可能となり、高齢者等の通院や買い物等の市民の日常生活に必要な移動手段が確保され、高齢者等の外出が促進される。また、市内鉄道との接続により、名古屋方面を始めとした通勤、通学や買い物に対応する公共交通ネットワークを構築することができ、クルマに過度に依存しない社会の構築にも繋がるとしている。 ・次に3ページ目をご覧ください。 ・「3. 2の目標を達するために行う事業及びその実施主体」について、先ほどの2. でご説明した目標を達成するための事業として、網形成計画を基に実際に取り組んでいる内容を記載している。 ・総合的満足度の向上の目標に対しては「サイクル&バスライド駐輪場の設置継続」「乗務員研修の実施」、1便当たり乗車人員の向上に対しては
--	--

	<p>「75歳以上への無料パスカードの配布を継続」「定期券、回数券、シルバーパス等の販売を継続」「健康フェスタや春まつり等、イベントの場を活用したきんちゃんバスの周知活動の展開」「無料お試し乗車券の配布」としている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次に「4. 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運行予定者」について、現在の系統の概要や時刻、運行事業者の決定方法について記載している。 ・次に「5. 地域公共交通確保維持事業に要する費用の負担者」は、弥富市となっており、運行収入及び国庫補助金を運行経費から差し引いた差額分を負担することとしている。 ・次に4ページ目をご覧いただきたい。 ・「6. 補助金の交付を受けようとする補助対象事業者の名称」は、三重交通株式会社となる。 ・次に7～10について、弥富市は「該当なし」となっている。 ・また、「11. 外客来訪促進計画との整合性」については、今年度から新たに追加された項目となっているが、弥富市は該当なしとなる。 ・次に、「12. 地域公共交通確保維持改善事業を行う地域の概要」についても所定の様式に従い、別途整理しているが、ここでは説明を割愛させていただく。 ・また、13～16について、弥富市は「該当なし」となっている。 ・次に5ページ目をご覧いただきたい。 ・「17. 協議会の開催状況と主な議論」として、平成30補助年度の協議会開催状況と、今回の協議会開催について記載している。 ・次に「18. 利用者等の意見の反映状況」については、協議会構成員に住民又は利用者の代表が参加していることや、利用者アンケートを実施した上で、改善策を検討協議していることを記載している。 ・最後に「19. 協議会メンバーの構成」として本協議会の構成員を記載している。 ・本計画については、現在も運輸支局と記載内容について調整を続けており、この会議の場では概ねの記載内容の確認と、今後、計画提出までの調整を事務局に一任していただきたく、ご審議をお願いする。 ・以上で、説明を終わる。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度初めて参加されている方もいらっしゃるの、わかりにくい。大丈夫か。 ・まだ平成30年度始まったところなのに、なぜ31年度の計画をやっているのかということだが、事務局から説明があったように、30年10月からの1年間で31年度になるので、今のこのタイミングで計画を出している。 ・「地域公共交通網形成計画」というのが、地域公共交通全体の3年間を長い目で見た計画である。議題に挙がっている「確保維持改善計画」というのは、年度ごとに計画を立てて具体的に何をやっていくのか、表に括弧書きであるが、地域内フィーダー系統関係とある。先ほど冒頭にあい

	<p>さつの中でお話ししたように、飛島バスを幹線とした支線バスという位置づけで国から補助金をいただいているということで、こういった計画を立てて、1年間こういう取り組みをしていくということを事前に国に提出していくことになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何かご意見、ご質問等あればお願いします。
<p>杉本委員 (愛知運輸支局)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・計画に関しては、先ほど山崎議長さんがご説明していただいた通りである。 ・年度は国の会計年度ではなく、あくまで補助年度と捉えていただきたい。31年度にこの計画に基づいて実施していただいた実績で国が補助をする。31年度の国の予算でもって補助をするから、31年度の計画になると捉えていただく。半年前倒しというのは、そこから事業者さんがいろいろな資料に基づいて申請を出して手続きをするので、半年間審査の時間も必要なので、半年ずれていると捉えていただけるとよい。 ・「2. 定量的な目標・効果」は29年度実績で既に目標値を達成していただいている。皆さま方のご努力によって達成されていると思う。一方で網計画の目標、あるいは確保維持計画の目標も網計画に沿って50%以上で、既に達成されているのに低い目標はどうなのという話もあるが、逆に言えば、この数字を維持していくという話から50%以上と。網計画の値を変えていくというのはなかなか難しいと思うので、そういった意味で50~60%の維持を仕組んだという目標、それに向けて取り組みをおろそかにしないという話かと私自身は捉えている。 ・他については、支局と担当者で調整をさせていただいている。引き続き、よろしくをお願いします。
<p>山崎議長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コメントをいただいたということでよろしいか。 ・私も気になるころではある。今年度、満足度60%達成しているのに、なぜそれより低いのが目標なんだと言われる人は言われる。杉本さんからもお話しいただいたように維持していくことが大事だということで、十分に目標値としていいのかと私は思っている。目標をどんどん高くしていくと達成できないような数字になってしまう。
<p>福田委員 (民生委員)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・3番のところだが、無料お試し乗車券の配布をしていただくが、弥富市で私たち民生委員として担当している部署にふれあいサロンというのが22ヶ所で毎月1~2回開催している。近くで歩いて行けるところは参加できるが、十四山とか遠くへは行けないということで、民生委員会でサロンの所在地を書いた広報誌をつくり、一人暮らしの方にお配りしている。その方たちにもサロンへバスを使って、「よその地域へも参加してください」と案内をしているが、高齢者の方に外出を増やしていただくにはよいかと思う。ここにサロンの案内を付け加えていただきたい。
<p>山崎議長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局、いかがか。
<p>事務局 (伊藤課長)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大変、貴重なご意見をいただいた。早速、取り入れたいと思う。

福田委員 (民生委員)	・ よろしく願います。
山崎議長	・ そういった取り組みをいろんな組織・団体でやっていただけると利用促進につながる。ぜひ、計画の中にもそういうことをやっているということを書いて、アピールしていくのが大事なことだと思う。
児玉委員 (交通対策課)	・ 12番、補助金交付要綱「表5」を添付と書いてあるが、「表5」というのは交通不便地域の人口の算出であるとか、補助金の上限額を算定する表だったと思う。こちらは添付しなくても、今回の協議の場において添付する必要があるのかと思ったが、どう整理をされたのか。
山崎議長	・ 事務局、願います。
事務局 (伊藤課長)	・ 今回、資料は添付していないが、今後、添付をして説明をさせていただきます。
山崎議長	・ よろしいか。
杉本委員 (愛知運輸支局)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「表5」については、上限額の算定、フィーダー系統の補助額を決定する重要な資料になるので、事前につけていただくに越したことはないと思う。 ・ 以前は計画に対して、実際にやったら満額払うという計画だったが、今フィーダー系統についても実績で支払っている。金額の内定をしないので、実際には交付のところで上限額が決まってくるかと思うので、ご理解いただきたい。 ・ 実際には、この表はつけていただくに越したことはない。皆さん委員の方もどれぐらいの金額をもらえるのかというのがわかるので、ぜひつけていただければと思う。この計画を出した時には、委員の方にも「表5」も含めてご報告していただければと思う。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 私も見落としていた。必須ではないが、きちんと情報を協議会の中で皆さんと共有していかなければならないので、改めて皆さんに開示していただきたいと思う。よろしく願います。 ・ 他によろしいか。 ・ 説明の中にもあったように支局さんと調整しながら修正すべき部分も出てくるかもしれないが、修正等あれば事務局に一任ということでご承認いただける方は挙手をお願いします。
委員一同	(異議なし)《承認》
山崎議長	・ 全会一致で承認された。事務局で申請の提出準備を進めていただきたい。よろしく願います。

3.議題

(4) 利用者実態調査について

山崎議長	・ 議題(4)利用者実態調査について、事務局より説明をお願いします。
事務局 (岡田)	<p>○資料5説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者実態調査について資料5を基にご説明する。 ・ 地域公共交通確保維持改善計画検討や改善内容検討のための基礎資料とするため、昨年度に引き続き、今年度においても利用者実態調査として、

	<p>乗車人員調査及びOD調査を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「乗車人員調査」については、実証運行期間中、毎日、乗車人数を調査する。 ・「OD調査」については、9月上旬ごろに月曜日から土曜日までの1週間、調査を実施する予定となっている。 ・具体的な期間については、運行事業者である三重交通と調整中となっている。 ・2ページ目以降では、参考に平成25年度から平成29年度の乗車人員の推移を整理している。 ・年度別に線の色分けしており、赤色の線が昨年平成29年度の値となっている。 ・平成29年度の総乗車人員は78,882人と増加傾向を維持している。 ・3ページ目にはルート別に乗車人員の推移を示している。 ・また、4ページ目では、上側の表で、4月から翌年3月期における一日平均乗車人員、下側の表で一便あたり平均乗車人員を年度別に整理している。 ・これを見ると、一日平均乗車人員、一便あたり平均乗車人員ともに、前年度よりも北部ルート、東部ルートで増加し、南部ルートで減少していることが分かると思う。 ・5ページ目には確保維持改善事業の事業年度に合わせ、10月から翌年9月期において整理した表となっている。 ・これを見ると、一日平均乗車人員、一便あたり平均乗車人員ともに、東部ルートの土曜日を除き、前年度よりも増加していることが分かると思う。 ・また、次のページからは、今年度のOD調査票のサンプルとなっている。 ・内容は昨年度と同じとなっており、利用目的を「行き」「帰り」別に分かるようにしている。 ・なお、実際の調査票はシール形式となっており、選択肢のシールをはがして、右側の太枠の中の破線の回答欄に貼っていただく形にしている。 ・また、これまでも同様の方法をとっており、毎年90%以上の高い回収率を維持しているので、今年度も同様の方法を取っている。 ・以上で、説明を終わる。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者実態調査について、OD調査という言葉が普通に使われている。交通の専門用語で「O」は「Origin」で、「D」は「Destination」という英語からきている。「出発地」と「到着地」という意味である。「O」というのが「乗ったバス停」、「D」というのが「降りたバス停」である。バス停間ODという言葉が使われるが、どこで乗って、どこで降りたかという調査をやる。普段の運行の中では、わざわざどこで乗って、誰がどこで降りたかということまで把握はしきれない。期間を決めて、協議会で調査をしようということである。 ・何かご意見、ご質問等あればお願いする。

	<ul style="list-style-type: none"> ・利用状況を過去の調査を見ている、かなり利用者が増えている。路線別で見ても、北部、東部ルートは増えている。南部ルートはもともと利用者が一番多い路線ではあるが、何か工夫が必要かと。今のサービスの状況だと、いっぱいいっぱいなのかなという感じがしないでもない。こういったことも今後、計画の見直しの中で課題として整理していただければよいと思う。 ・いかがか。女性の会の服部さん何かありましたら、今お二人でしゃべっていらっしゃるようですが、特によろしいか。
福田委員 (民生委員)	<ul style="list-style-type: none"> ・南部ルートが少なくなっているのは、住宅が密集しているところが駅に近いから仕方がない。歩きや自転車で来れる。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・南部ルートは全体としては利用者が多い。他のルートと比べると増えていないところがある。
福田委員 (民生委員)	<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員協議会でみんなに乗ってきもらったが、乗った感想は、ちょっと時間がかかり過ぎて利用はできないという意見だったので、今、服部さんと「ちょっと時間がかかり過ぎるね」と話をしていた。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度も改めて調査をした上で、課題としてきちんと整理していくということをお願いする。 ・他にご意見、ご質問いかがか。
佐野委員 (公募委員)	<ul style="list-style-type: none"> ・先ほど福田さんがおっしゃっていた「ふれあいサロン」、例えば私が東部ルートを利用してふれあいサロンに見学を兼ねて行こうと思うと、帰りの便がない。だから、行きはいつでも帰りはこわいという感じである。どうしたらいいかという問題が考えられる。馬ヶ地はふれあいサロンをまだしていないので、これからしたいと思っているが、そういった場合においてこのバスを利用するとなると…。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・すべてをバスで補うわけにはいかず、いろんなものを組み合わせていかなければいけないのかもしれない。バスですべてをやろうとするとお金がかかり過ぎるところはある。そういったことも含めて、見直しの中で具体的に検討をしていく。 ・それでは、今年度の利用者実態調査はこういった方針で実施をしていくということでご審議いただきたい。承認いただける方は挙手をお願いする。
委員一同	(異議なし)《承認》
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ご承認いただいた。事務局で準備を進めていただきたい。よろしく願います。

3.議題

(5) モニタリング調査について

山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・議題(5) モニタリング調査について、事務局より説明をお願いする。
事務局 (岡田)	<p>○資料6説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モニタリング調査について資料6を基にご説明する。 ・先ほどの利用実態調査同様に、昨年度に引き続き、今年度においてもモニタリング調査として、きんちゃんバス利用者を対象としたアンケート

	<p>調査を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査は、きんちゃんバス利用者500名に配布する予定である。 ・実施時期としては、9月中旬ごろに実施する予定である。 ・具体的な配布期間については、運行事業者である三重交通と調整中となっている。 ・内容として、次のページより整理している。 ・「きんちゃんバスに関するアンケート調査、ご協力をお願いします！」と書いてある、裏表1枚が頭紙となっており、裏面に、啓発や利用促進を兼ねて、お得な情報やサイクル&バスライド駐輪場の情報を記載している。 ・また、この紙は対象者の手元に残るように、アンケート票とは別に分けて印刷する。 ・次のページからアンケートの内容となっている。 ・右上に「利用者アンケート票」と小さく書いてあるアンケートをご覧いただきたい。 ・アンケートは問1～11までの設問で構成しており、昨年度実施した調査とほぼ同様の内容となっている。 ・1ページ目では問1で対象者の属性を把握する。 ・問2で利用ルート、問3で利用頻度、問4で利用目的を把握する。 ・次のページに移り、問5では割引制度の利用状況、問6ではきんちゃんバスの満足度を把握するものとなっており、不満な理由についても書いていただく内容となっている。 ・この問6の回答結果は、網形成計画や確保維持改善事業の目標として掲げている「総合的満足度の向上」の評価指標として活用するものである。 ・問7では、サイクル&バスライド駐輪場の認知度や利用状況を把握する設問となっている。 ・ここの設問の文章について、昨年度の協議会において「もっと短くシンプルにした方が分かりやすい」とのご意見を頂いたので、サイクル&バスライド駐輪場の説明文を削除し、短くしている。 ・次のページに移り、問8では、きんちゃんバスの利用頻度の変化について把握する。 ・問9では、東部ルートの「善太橋西」と「亀ヶ地」バス停における、飛島公共交通バス蟹江線との乗り継ぎ状況や評価を把握する。 ・次のページに移り、問10では自宅とバス停との距離関係を、次のページの間11では市の費用負担と利便性の関係の意向について把握する。 ・以上で、説明を終わる。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート調査票に関してご説明いただいた。利用者500名が対象となる調査である。何かご意見、ご質問等あればお願いします。
児玉委員 (交通対策課)	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年、モニタリング調査をされているということで、とても素晴らしい取り組みだと思う。 ・今年度、初めて参加させていただいて存じないので教えていただきたい。バスの車内以外で、例えば病院であるとか、イオンタウンであるとか、

	そういったところでの調査はされているのか。
山崎議長	・事務局お願いする。
事務局 (伊藤課長)	・今現在はバスの利用者ということで、バスの中だけでさせていただいている。
児玉委員 (交通対策課)	・割とわかりやすいアンケートで、よくできていると思う。お金の部分でいろいろと大変かもしれないが、使っていない人への掘り起こし(今後やっていくか)というのはお考えなのか。
事務局 (伊藤課長)	・大変、貴重なご意見である。検討したいと考える。
山崎議長	・施設側での調査について、車で来ている方がどれくらいいて、その中でバスが使えるのならバスで来たいという方もいらっしゃるかもしれないので、需要の掘り出しのための調査にはなる。今年度、何か考えられるのであれば、予算の許す中でやってもいいと思う。来年度、詳細な調査をやっていくので、その中で一度、施設来訪者調査等をやっていくのもよい。検討していただきたい。 ・モニタリング調査は9月中旬頃実施ということで、調査票を確定するタイミングあるかと思う。最終的に調査票はいつ頃確定するのか。印刷の準備等もあるかと思うが…。
事務局 (岡田)	・7月中旬には確定させていただきたい。
山崎議長	・逆に言えばそれまでだったら、大まかな修正は難しいかと思うが、微修正なら大丈夫というところである。 ・もし何かご意見があれば、7月第一週ぐらいまでに事務局にご連絡いただきたい。 ・中身に関しては、事務局にお任せではあるが、細かいところで何か意見があれば、事務局にお寄せいただきたい。こういった形で、今年度アンケート調査を実施していくということでご承認いただける方は挙手をお願いします。
委員一同	(異議なし)《承認》
山崎議長	・ご承認いただいた。事務局で準備を進めていただきたい。 ・7月第一週ぐらいまでに意見が出てくれば、検討していただくようお願いする。

3.議題

(6) 無料お試し乗車券について

山崎議長	・議題(6)無料お試し乗車券について、事務局より説明をお願いします。
事務局 (岡田)	○資料7説明 ・無料お試し乗車券の配布について資料7を基にご説明する。 ・これまで7回にわたり実施し、利用者増の効果が認められた無料お試し乗車券の配布について、今年度も実施する。 ・配布対象は昨年度と同様に、市内全世帯に加え、小学生にも配布することを考えている。

	<ul style="list-style-type: none"> ・これは、利用可能期間を8月1日から31日までの夏休み期間としていることから親子での利用機会も創出することを狙っている。 ・また、この裏面、2ページ目に、昨年度実施した際のお試し無料乗車券、その次のページの表裏が今年度のサンプルとなる。 ・おもて面では啓発を目的とした文言を記載し、うら面には簡単なアンケートを記載して、回答を無料乗車の利用条件としている。 ・ここで、昨年度の協議会において「1人1回きんちゃんバスに乗ってみよう運動のようなものをしてはどうか」というご意見をいただいていた。 ・そこで、昨年度まで「きんちゃんバスをご利用ください」と大きく書いてある標語を、「この機会に、1人1回きんちゃんバスを使ってみよう」に変更している。 ・この標語については、委員の皆さまからも「こんなのはどうか」といったご意見を頂ければと思う。 ・また、アンケートの内容については、無料お試し乗車券を小学生にも配布することを踏まえ、Q1の選択肢において、「小学生」と「中学生」とを区分して把握できるように修正している。 ・以上で、説明を終わる。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・無料お試し乗車券について、具体的に今年度のデザインができています。ポイントとしては、一番頭の「1人1回きんちゃんバスを使ってみよう」と、この会でいただいたご意見を踏まえて、ここを修正した。あと、アンケートを少し変えている。何かご意見、ご質問等あればお願いします。 ・無料お試し乗車券は、私自身はすごく良い取り組みだと思っている。8回なので8年である。ずっと継続していることは良いことだと思う。実際にこれがきっかけで新しく使った人がどれだけいるという分析もやっているのだから、これは良い事例だと思う。 ・昨年度、愛知県のエコモビ表彰にエントリーさせていただいたが、残念ながら他のところもいろいろな取り組みをやっているのだから落選してしまった。無料は良くないと主張される先生方も結構いらっしゃるのだから…。ただ、これは本当にお試しということで、まず「体験してみてください」「使ってください」ということで良いことだと思うのだから、ぜひこれは続けていただきたい。
福田委員 (民生委員)	<ul style="list-style-type: none"> ・これは本物か。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・本物ではない。これは使えない。「サンプル」と入れておかないといけなかった。全戸配布されるのだから…。 ・頭のところ、今までは「きんちゃんバスをご利用ください」だったが、この機会に「1人1回きんちゃんバスを使ってみよう」に変更している。7月に入ったらすぐ配布するので、今から修正だと難しいのか。ここで出てきた意見なら反映できるぐらいのタイミングか。
事務局 (岡田)	<ul style="list-style-type: none"> ・そうである。

山崎議長	・いかがか。
杉本委員 (愛知運輸支局)	・非常に良いと思う。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・「1人1回きんちゃんバスを使ってみよう」というのも、この会議の中で以前出てきた言葉なので、今回はこれでいってみようということでご審議いただきたいと思う。 ・無料お試し乗車券について、今年度はこういった形で実施するということが承認いただける方は挙手をお願いします。
委員一同	(異議なし)《承認》
山崎議長	・ご承認いただいた。それでは準備を進めていただきたいと思います。

3.議題

(7) バス停の新設・ダイヤ改正について

山崎議長	・議題(7) バス停の新設・ダイヤ改正について、事務局より説明をお願いします。
事務局 (岡田)	<p>○資料8説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バス停の新設・ダイヤ改正について資料8を基にご説明する。 ・地域住民からの強い要望を踏まえ、ルート上に新たなバス停の設置を検討したいと考えている。 ・また、このバス停の新設や、現在の運行の遅延状況を踏まえたダイヤ調整もあわせて検討したいと考えている。 ・ダイヤの改正は来年度の4月1日を予定、目標としている。 ・うら面の図面を見ながら説明する。 ・1点目として、北部ルートの白鳥コミュニティセンター東側への新たなバス停を設置したいと考えている。 ・これは、地域住民からの強い要望が出されていることがある。 ・事務局としても、少しでもきんちゃんバスを必要とされている地域の方の、手助けとなるよう、現在のルート上において、利用しやすい環境を確保したいと考えている。 ・2点目として、北部ルートについて、国道1号沿道の服部整形外科皮フ科前にある、三重交通が運行する路線バス：名古屋桑名線の佐古木バス停に、きんちゃんバスの新たなバス停を併設したいと考えている。 ・これは、現在の北部ルートの運行ルート上にある服部整形外科皮フ科への通院の際に、きんちゃんバスを利用したいとの強い要望が地元から出されていることへの対応となる。 ・ただ、名古屋桑名線の佐古木バス停は、西進方向のみの片側にしか設置されておらず、東進方向には、バス停が設置できる安全なスペースが確保されていない状況となっている。 ・そこで、既存バス停があり、比較的設置が容易な西進方向のみにバス停を設置することにより、通院の際に利用しやすい環境を確保したいと考えている。 ・なお、三重交通が運行する名古屋桑名線は、名古屋駅の名鉄バスセンタ

	<p>一から桑名駅前を結ぶ路線で、平日、休日ともに、佐古木バス停22時28分発の1日1便のみの運行となっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・また、今回のバス停の新設を踏まえ、ダイヤ調整を実施したいと考えている。 ・現在、ダイヤの遅延が散見され、特に佐古木駅周辺においては、渋滞等の影響により、ダイヤの遅延が慢性化しているとの報告を運行事業者から受けている。 ・そこで、全ルートを対象に現在のダイヤを再精査し、全体的なダイヤの調整により定時性を確保したいと考えている。 ・以上の2点となるが、今後、具体的なバス停の設置位置やダイヤの内容を運行事業者等の関係者とも調整し、12月に開催を予定している第3回協議会において、ダイヤ案をお示ししたいと考えている。 ・委員の皆さまにおいては、この検討を進めてよいか、ご審議をお願いしたいと思う。 ・以上で、説明を終わる。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・バス停2ヶ所の新設・ダイヤ改正について、本日はこんな方針で検討を進めることに関して、皆さんにご承認いただきたい。具体的な場所とか決まっていないから、警察さんとの協議もまだしていない状況ということではよろしいか。
前田委員 (蟹江警察署)	<ul style="list-style-type: none"> ・一緒に現場は立ち会った。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・了解である。 ・何かご意見、ご質問等あればお願いします。
佐野委員 (公募委員)	<ul style="list-style-type: none"> ・去年から申し上げているが、馬ヶ地バス停は危険ではないという去年の返事だったが、お寺の方に変えていただくことはできないのか。そういう案を皆さん言っているが、東部ルートだがどうか。新設とは違うが。
事務局 (伊藤課長)	<ul style="list-style-type: none"> ・今現在もそちらのバス停をご利用されている方もおり、地元の要望だとか取りまとめをした上で協議をさせていただくことになる。
佐野委員 (公募委員)	<ul style="list-style-type: none"> ・皆さんお寺の辺が中心だから、そちらに移転してもらいたいという声がある。今前の方なので、馬ヶ地の中心からは…。要望である。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・今日、出てきているところとは違うところだが、事務局で検討していただきたい。地元の利用の状況を把握しないとわからないところもあるので、検討課題として、今後扱っていくということをお願いする。
杉本委員 (愛知運輸支局)	<ul style="list-style-type: none"> ・先ほど補足で、12月会議に向けて関係者と協議をしながら具体的な提案をされるという説明があった。既に協議に入られているかと思うが、警察さんや道路管理者、地権者さんと十分に協議を行っていただきたい。 ・次回、提案にあたってはダイヤ等あるかと思うが、当然バス停を設置するというのは運賃が関連してくる。当然200円なので、同じ運賃、変更なしという形になると思うが、協議にはかけていただくことになる。資料に入れ込んで、運賃の協議もしっかりお願いしたい。 ・ダイヤの見直しにあたっては、安全が一番重要になってくる。運行事業

	者さんと十分協議をされると思うが、事業者に関して処分基準が強化されていて、法令違反がある場合によっては、バスがストップする可能性もある。連続運転など法令違反のないような見直し、新たなダイヤ設定だとかこれからの再編とかに関してすべて同じになるので、そういった観点で事業者さまと十分ご調整いただきたいと思う。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・杉本さんからご指摘されたところ、他の地域ではあるが、かなり事業者さんに無理をしていただいて、時間いっぱいの中で無理に運行しているようなところもちらほら見かけるので気をつけていただきたい。 ・12月あたりに最終的にご審議いただく。本日の段階では、こういった検討を進めていくことに関してご審議いただきたい。承認いただける方は挙手をお願いします。
委員一同	(異議なし)《承認》
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ご承認いただいた。それでは具体的な検討、調整を進めていただきたいと思う。

3.議題

(7) その他

山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・議題(7) その他について、事務局から何かあるか。
事務局 (伊藤)	<ul style="list-style-type: none"> ・特にない。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・私から「その他」として、PRしておきたいことがある。 ・国土交通省さん共催になっているイベント「日本モビリティ・マネジメント会議」がある。モビリティ・マネジメントという言葉は弥富の協議会でもたまに出てくる。モビリティ・マネジメントというのは、人々の移動に関して、車に頼りすぎないような移動をしようという研究をしていく会議である。日本モビリティ・マネジメント会議というのが、全国で毎年1回夏に行われるが、今年度、私がいる愛知県豊田市で開催される。 ・今配っていただいているのが、「エコモビ推進表彰」で愛知県さんの資料である。エコモビとも関わってくるが、モビリティ・マネジメント会議が7月27日(金)、28日(土)に豊田市で開催される。参加費が1人3,000円かかるが、1日目の7月27日(金)午前中に関しては、開催地イベント(開催地開催企画)と称して、豊田市の企画でシンポジウムを開催する。資料がないので口頭だけだが、名城大学の松本教授はバスのことに関しては愛知県の中で第一人者的な存在でいらっしゃる。松本先生がコーディネーターを務め、私もパネラーとして登壇する。興味のある方は調べていただいて、ご参加いただければと思う。 ・愛知県さんのエコモビ推進表彰に関して、児玉さんよりお願いします。
児玉委員 (交通対策課)	○資料「エコモビ推進表彰」説明
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・他に何か、この機会にお話ししたいこと等あればお願いします。

<p>杉本委員 (愛知運輸支局)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・私ども、運輸事業のみならず、すべてのモードにおいて人材確保・育成対策推進本部を運輸局で設けている。理由は、いろんところで人材不足になっている対策を全モードで横断的にやっていくためである。運送事業のバスもそうだが、トラックもタクシーも人材不足である。 ・有効求人倍率を見ると、愛知県内は2倍近いが、バス・トラック・タクシーの運送事業に関しては3倍近くになっている。それだけ人材が不足している。なかなか応募もされない。場合によっては、今から対策をしないと、きんちゃんバスも動かす人がいなくなるという状況にもなる。いくらダイヤを増やしてほしいといった要望があっても、それに対応できるだけの運転手さんが集らないという状況にもなる。新しい方を増やすこともそうだが、定着率を高めるということも非常に重要なツールになっている。 ・運転手をやっていてよかったと思うような気持ちにしていきたいということで私も実践している。私もきんちゃんバスの東部ルートに乗ってきたが、皆さんあいさつをされている。コミュニティバスは特に皆さん方が「ありがとう」とか「お願いします」といったようなあいさつをされている。私もいろんなバスに乗るたびに声をかけるよう心掛けている。そうしたことによってモチベーションが上がるといったご回答をされる方がいっぱいいるので、ぜひ皆さま方も利用促進の機会と捉えてやっていただければありがたい。
<p>山崎議長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「良い運転手さんを表彰しよう」とか、バスの中で運転手さんとこんな会話があったというような良い話を市民から募集したり、そんなことをやるのもおもしろいということも以前からアイデアとしてはある。利用促進で考えていってはどうかと思う。 ・運転手さんがいないというのは大事な話なので、お子さんとかお孫さんでバスの運転手になったらどうかと勧めていただくのもいいかもしれない。本当に人材が不足しているということなので。 ・議題はこれですべてである。 ・事務局にマイクを返す。
<p>事務局 (伊藤)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・次回、第2回協議会は10月末もしくは11月初旬を予定している。日程が決まり次第、ご案内させていただくので、よろしく願います。 ・以上をもって、第1回弥富市地域公共交通活性化協議会を閉会する。
	<p>以上</p>